
溶接学会便り No. 34

2021年10月8日

〇〇 〇〇 様

会員番号：〇〇〇〇〇〇〇

平素より、当学会の活動にご尽力、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「溶接学会便り No. 34」を発刊しましたので、お届け致します。

本メールマガジンは一般社団法人溶接学会の会員で、E-mail アドレスをご登録頂き、会員マイページでメールマガジンを「希望する」とした方にお送りしています。

定期発刊は、1月、4月、7月、10月（各月中旬）の年4回です。

◆溶接学会のHPはこちらです。

<http://www.jweld.jp/>

【目次】

1. 溶接学会各賞受賞候補者推薦の件
 2. 溶接工学企画講座（自動車関連材料の溶接・接合技術）のご案内
 3. 溶接工学専門講座（溶接疲労強度研究委員会）のご案内
 4. 溶接入門講座（12月オンライン開催）のご案内
 5. JAAA2021 シンポジウム「先進自動車製造技術における接合技術 2021」
 6. Mate 2022 第28回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Microjoining and Assembly Technology in Electronics)
 7. 東海支部 第99回溶接研究会の参加者募集
 8. 東北支部 2021年度 溶接・接合技術基礎セミナーの参加者募集
 9. 溶接学会論文集の最新掲載
 10. IIW 2022年次大会 東京大会
 11. Welding International 誌への転載について
 12. 溶接学会主催行事予定について
 13. 2022年度会員会費の銀行口座引落日のお知らせ
 14. 【重要】学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について
 15. 【重要】J-STAGE 電子版における溶接学会誌、全国大会講演概要集の一般への公開制限について
 16. 【重要】会員専用ページ「マイページ」について
-

1. 2021年度 溶接学会 各賞 受賞候補者募集

溶接学会誌 10月号（第90巻、第7号）会告でお知らせのとおり、佐々木

賞、田中亀久人賞、溶接学会業績賞、溶接学会技術貢献賞、妹島賞の各賞受賞候補者を募集いたしますので、適格者がございましたら、溶接学会 HP をご参照の上、ご推薦下さい。

<https://www.jweld.jp/archive/2021jyusyo-suisen.pdf>

推薦書の書式は下記からダウンロードして下さい。

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.jweld.jp%2Farchive%2F2021jyusyo-suisen-youshikiA.docx&wdOrigin=BROWSELINK>

2. 2021 年度 溶接工学企画講座(オンライン開催)のご案内

産業分野のものづくりのトレンド「自動車関連材料の溶接・接合技術」

溶接工学企画講座は溶接学会編集委員会が溶接学会誌の編集において企画を練り企画記事、特集記事としたコンテンツをベースに個々の記事の執筆者やその関係者が直接、講義をすることでそれぞれの産業分野における技術トレンドをより深く理解できる内容となっています。

今回、「自動車関連材料の・接合技術」を企画いたしました。

安全性確保を使命とし、かつ高速での移動手段であることを前提とする自動車は溶接部での信頼性確保のための施工管理、施工技術が重要となります。近年は、鋼が持つ性能の限界までの活用とマルチマテリアル化による軽量化がキーワードとなり、溶接部の信頼性確保に加え、国際競争力の観点からの溶接施工コストの低減との両立が常に求められます。このような課題に応える最新の技術動向にスポットを当て、各分野でご活躍の専門家の方々から話題の提供と解説および問題提起を頂く内容となっています。

日時：2021 年 11 月 8 日(月) 10:00~16:20

受講料：会員 25,000 円、非会員 40,000 円

※賛助員に登録している会社に所属する方は会員価格です。

開催：MS Teams を利用した同時双方向型配信

詳細は <https://www.jweld.jp/archive/2021/2021kougaku-kikaku-0729.pdf>

申込は

<https://member.jweld.jp/lecture/entry/index.php?k=2M2qndBx7kHKmBaZnL22>

3. 2021 年度 溶接工学専門講座(オンライン開催)のご案内

本年度の専門講座は、溶接疲労強度研究委員会の企画で「溶接疲労強度評価の基礎と応用」と題した講習会を開催いたします。溶接構造物の耐久性・寿命を支配する物理現象は腐食と疲労といえ、疲労損傷を受けやすいことが溶接構造物の弱点とされています。この弱点を克服するためには、溶接構造物の設計、施工、維持管理に関わる技術者が、金属材料および溶接

継手の疲労に関して正しい知識をもつ必要があります。

構造物の安全性と長寿命化を意識して、基礎から応用までを網羅した溶接疲労の教科書として、溶接疲労強度研究委員会が編纂した「溶接構造の疲労」（産報出版、2015）がありますが、紙数の制限でやむを得ず基礎的事項の解説が簡略になった部分もあるため図書の独習のみで初学者が溶接疲労の全容を理解するのは容易ではありません。また、出版から6年が経過し、この間、繰返し塑性理論、数値破壊力学、疲労強度改善法、レトロフィッティング等が長足の進歩を遂げたこともあり、最新情報の提供を求め声も高まっています。本講習会ではその点についても解説を行います。

日時：2021年11月9日(月) 9:55～17:20

受講料：会員 30,600円、非会員 51,000円

※賛助員に登録している会社に所属する方は会員価格です。

詳細は <https://www.jweld.jp/archive/2021/2021kougaku-senmon-0729.pdf>
申込は

<https://member.jweld.jp/lecture/entry/index.php?k=2gu9QnSsZmb5UdwFW323>

4. 溶接入門講座（オンライン開催）

～新入社員・構造部材設計技術者のための講座～

本講座は、新入社員の方をはじめ、溶接に関わる製品や部材を使用するユーザーの方、建築をはじめとする構造部材の設計に関わる技術者の方など業務上、溶接の知識を必要とされる方を対象とし、溶接の各分野において経験深い専門の講師が溶接技術の全般（鉄鋼材料(炭素鋼・ステンレス鋼)・力学設計・非破壊検査・溶接施工管理)にわたる基本を入門講座として分かりやすく解説いたします。

今回から受講料に学生の区分を設置し、大学院生に対しても受講しやすくいたしました。

日程／2021年12月9日(木)・10日(金)開催

参加費：会員 31,600円、非会員 42,800円、学生 15,800円

※賛助員に登録している会社に所属する方は会員価格です。

※学生の区分を新設しました。

開催：MS Teams を利用した同時双方向型配信

詳細は <https://www.jweld.jp/archive/2021/2021nyumon0913.pdf>

申込は

<https://member.jweld.jp/lecture/entry/index.php?k=pHumPQwdCKXp6FB5Qt24>

5. JAAA2021 シンポジウム「先進自動車製造技術における接合技術 2021」

近年、自動車を含め、様々な輸送機器においては、燃料およびエネルギー消費の抑制を目的として、車体機器のみならず、その構成部品についても、さらなる軽量化が求められております。特に、2025年カーボンニュートラルに向けて、更なる技術革新が求められております。

軽構造接合加工研究委員会では、これまで軽量化を目的とする各種材料、各種接合技術、品質保証、制御技術など、自動車および自動車製造に関わる接合技術を取り上げたシンポジウムを開催して参りました。この度、研究分野のさらなる発展、そして様々な技術の国際化にむけて、この分野に携わる技術者・研究者が最先端の技術情報を交換する場として、第4回目となりますシンポジウムをJAAA2021として開催することにいたしました。

■開催日 2021年11月30日(火)・12月1日(水)

■WEB開催 (Cisco Webex Meetings) を利用した同時双方向型配信

■参加費

- ・溶接学会員 ￥15,000.- (不課税)
- ・共催団体メンバー ￥15,000.- (消費税込)
- ・協賛団体メンバー ￥20,000.- (消費税込)
- ・非会員 ￥25,000.- (消費税込)
- ・学生 ￥10,000.- (消費税込)

■JAAA2021 ホームページ

<https://jaaa.secretari.jp/reg2021/guide/>

6. Mate 2022 第28回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Microjoining and Assembly Technology in Electronics)

日本のエレクトロニクス産業は、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の成長を牽引してきました。さらに今後、IoTやAIを活用した未来社会を実現していくためには、生産技術の科学的探求をベースとしつつ、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだオプティマイゼーションとそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。本シンポジウムは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

■開催期間：2022年2月1日(火)～14日(月)

■開催方式：オンライン（最新情報は、シンポジウム HP へ）

※詳細・お申し込みは下記 URL からお願いします。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/mate2022/top>

7. 東海支部 第 99 回溶接研究会

研究会テーマ 「異種材に向けた接合技術（機械締結、接着接合）」

Microsoft Teams 利用

日時：2021 年 10 月 26 日（火）13:25～16:35（10 月 19 日締切）

参加費：無料

詳細は、

<https://www.jweld.jp/archive/2021/99yosetu-kenkyu20211006.pdf>

申込は、東海支部事務局 jws@met.mach.mie-u.ac.jp

8. 東北支部 2021 年度 溶接・接合技術基礎セミナーの参加者募集

本セミナーは溶接管理技術者 2 級向けテキストを用いて、溶接・接合の初心者やもう一度学び直したい方などを対象とした基礎講義です。会員に限らず、どなた様でも参加いただけますので、初心者向けの社内教育などにご利用下さい。

日時：2021 年 10 月 29 日（金）10:20～17:50（日程を変更しました）

場所：いわき産業創造館／福島県いわき市

参加費：会員 3,000 円、非会員 6,700 円

テキスト代：3,300 円

詳細および申込は

http://www.material.tohoku.ac.jp/~setsugo/JWS_tohoku/2021Seminar.pdf

9. 溶接学会論文集の最新掲載

溶接学会論文集の最新の掲載論文は下記の URL からご覧ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/qjjws/-char/ja/>

10. IIW 2022 年次大会 東京大会

第 75 回目となる国際溶接学会 (IIW) 年次大会・国際会議 (The 75th IIW

Annual Assembly and International Conference)が2022年7月17日(日)～22日(金)にグランドニッコー東京台場において開催されます。国際会議のテーマは、「カーボンニュートラル実現と持続可能な発展を支える溶接・接合技術の革新」とし、併せて技術会議(WU)も開催されます。

また、IIWに先立ち7月13日(水)から国際ウエルディングショーも東京ビッグサイトで開催されるため国内外から溶接関係者が集います。

<https://www.iiw2022.com/index.html>

11. Welding International 誌への転載について

本会の論文集に掲載された論文は、著者が英文翻訳の意思がある場合、TAYLOR & FRANCISE 社側からの掲載の要請があった論文については TAYLOR & FRANCISE 社が英文翻訳を行い翻訳英文論文として Welding International 誌に掲載されます。論文集への投稿をお願いします。

12. 溶接学会主催行事予定について

溶接学会本部、支部を含め、全国大会、シンポジウム、研究発表会、講演会、講習会、研修会、見学会など溶接学会主催の公開行事の予定を溶接学会ホームページに随時掲載していますので、ご参照ください。

溶接学会 HP「イベント情報」→「溶接学会主催行事予定」をクリックして下さい。

URL は、<http://www.jweld.jp/event/index.html>

13. 2022 年度 会員会費の銀行口座引落日のお知らせ

溶接学会誌 10 月号（第 90 巻、第 7 号）会告でお知らせのとおり、2022 年度会員会費の口座引落日は、2021 年 12 月 23 日となります。引落日口座のご変更等は、10 月末日までに溶接学会事務局（TEL 03-5825-4073）までご連絡下さい。

【会員年会費】

正 員：13,000 円

学生員：6,000 円

賛助員：42,000 円×口数

14. 【重要】 学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について

溶接学会では、ご承知のとおり J-STAGE による学会誌、論文集、全国大会概要集の電子版による公開閲覧を鋭意進めて参りました。

2017 年 4 月から学生員については、溶接学会誌を J-STAGE 電子版にて閲覧できることから学会誌の冊子の送付を廃止させていただきました。(2016 年 12 月 19 日理事会決議)

なお、学会誌を J-STAGE 電子版で閲覧いただくには、個人会員で、かつ「会員閲覧認証登録」の完了が必要となります。

手続きは「マイページ」（溶接学会 HP 右上からログイン）から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。

15. 【重要】 J-STAGE 電子版における溶接学会誌、全国大会講演概要集の一般への公開制限について

学会会員特典をより明確にするために、J-STAGE 電子版の一般への公開制限期間を溶接学会誌、全国大会講演概要集は 5 年間に設定しております。

上記の公開制限期間中は、個人会員で、かつ会員閲覧認証登録された個人会員のみへの限定公開となります。

個人会員で J-STAGE 電子版における溶接学会誌、全国大会講演概要集を閲覧をご希望の方は、「マイページログイン」（溶接学会 HP 右上のボタン）から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。（通常、申請された翌月中旬から閲覧が可能となります。閲覧可能時に事務局からメールでお知らせいたします。）

14. 【重要】 会員専用ページ「マイページ」について

溶接学会の個人会員様には、会員サービスの一層の向上を図るため、個人会員様を対象とした会員専用ページ「マイページ」を開設しています。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、会費納付、技術情報の閲覧登録等各種サービスのご利用が可能となります。

当学会ホームページのトップページ右方のマイページログインボタンからマイページに入り、「マイページ操作マニュアル」にしたがい、操作をお願いいたします。

1. ログイン → 2. 会員情報確認・変更 → 3. パスワード変更 →
4. マイページ内の完了 ボタン(会員情報等変更の有無にかかわらず必ず押してください)

なお、マイページの URL は、member.jweld.jp/mypage です。

会員番号とパスワードは、大切に保管してください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人様が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスをマイページにご登録ください。

(マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください)

◆発信専用アドレスのため、本メールアドレスには、返信できません。

◆お問合せは、下記のメールアドレスにお願い申し上げます。

◆配信の停止をご希望される場合は、会員専用ページ「マイページ」の会員情報変更でメールマガジンを「希望しない」にマークしてください。

一般社団法人溶接学会 事務局

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 4 丁目 20 番地

溶接会館 6 階

TEL: 03-5825-4073 FAX: 03-5825-4331

Email: t-oguma@tg.rim.or.jp
